自殺予防対策

本市の自殺率は、平成7年以降10年連続で全国第1位となっている秋田県の中においても上位にあることから、心の健康づくり事業として、保健推進員研修会や健康教室、健康展などで自殺予防に対する正しい知識の普及啓発に努めています。9月5日には、文化会館において「自殺予防シンポジウム」を開催し、市民の理解を深めたところです。今後も県と連携を図りながら自殺予防対策に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

小友沼

小友沼地区の県営ため池等整備事業については、着工前の調査で浚渫（しゅんせつ）工事の難航や浚渫による環境への影響を配慮して見直すこととしています。

変更後の工法では、ため池の浚渫は行わず、堤体盛土用の土砂は購入土を予定しており、今年度は、堤体工などの実施設計にとどめ、本格着工は平成18年度以降としています。

また、小友沼及び周辺環境保全構想については、説明会や意見募集を行いました。現在、皆様からいただいた意見を整理し、農業関係者、地域住民、環境保全活動団体など関係の方々と話し合いを進めているところです。

水稲の作柄について

5月下旬からの好天により回復し、8月15日現在の県北の作柄概況では「平年並み」となっています。

また、注意報が発令されたカメムシの防除対策については、市と関係機関が連携し農業指導情報などによる周知をしているほか、関係団体や農家でも適切な防除に努めています。

夏のイベント

7月23日の「能代港まつり花火大会」と23日、24日の「のしろみなとまつり」を皮切りに、8月1日に「けやき公園七夕まつり」、3日には「こども七夕」、6日、7日に「役七夕・シャチ流し」と続きました。昨年に続き開催された花火大会では、10万人の人々が夏の夜空の大競演に酔いしれました。

のしろみなとまつり

能代フィルムコミッション

7月20日、全国フィルムコミッション連絡協議会に登録され、その後、協議会を通して、幕末時代の日本のシーンを撮れる東北のロケ地としてどうかなどの照会もありましたので、情報提供などに努めてまいります。現在、能代フィルムコミッションでは、11月の第1回フォトコンテストに向けて映画やテレビ番組、CM撮影のロケーションとして使ってもらいたい能代山本周辺の風景を募集しています。

淳城3校統合2校新設準備会

8月29日に第3回目の会議を開催し、主に3校統合に伴う交流事業や新設2校の校名の決め方について話し合われました。交流事業については、今年度は各校の既存の行事を活用し実施することとし、今後具体的に実施方法を詰めてまいります。また、校名の決め方については、関係校のPTA、同窓会、児童・教職員や学区内の自治会からも意見をいただき、準備会で集約することとしました。今後、今年度中の決定に向けて作業を進めてまいります。

高等学校の再編について

第5次秋田県高等学校総合整備計画後期計画が策定され、7月22日に公表されました。今後、統合により能代商業高等学校を含むことになる高等学校について、県教育委員会との協議を進めていくことになります。今月中には、県と本市による検討組織を立ち上げたいと考え調整中です。

生涯スポーツの普及・振興

生涯スポーツの普及・振興を図るため、9月11日、12日の2日間、落合地区のマレットゴルフ場において、全国10都県から200人の参加を得て厚生労働大臣杯第9回日本マレットゴルフ全国大会が開催されることとなっています。

また、子供から高齢者まで好評を得ているニュースポーツのフライングディスク交流大会は10月に風の松原周辺で、ユニカール普及交流大会は12月に総合体育館を会場にそれぞれ開催することにしています。

秋田わか杉国体・秋田わか杉大会

秋田わか杉国体能代市実行委員会は、7月29日開催の第2回総会において、「秋田わか杉国体・秋田わか杉大会能代市実行委員会」に名称を変更いたしました。また、組織を充実するため、顧問、委員を増員し、これまで27名で組織していた実行委員会を88名に増員しました。さらに、実行委員会の中に、新たに障害者スポーツ専門委員会を立ち上げたところです。